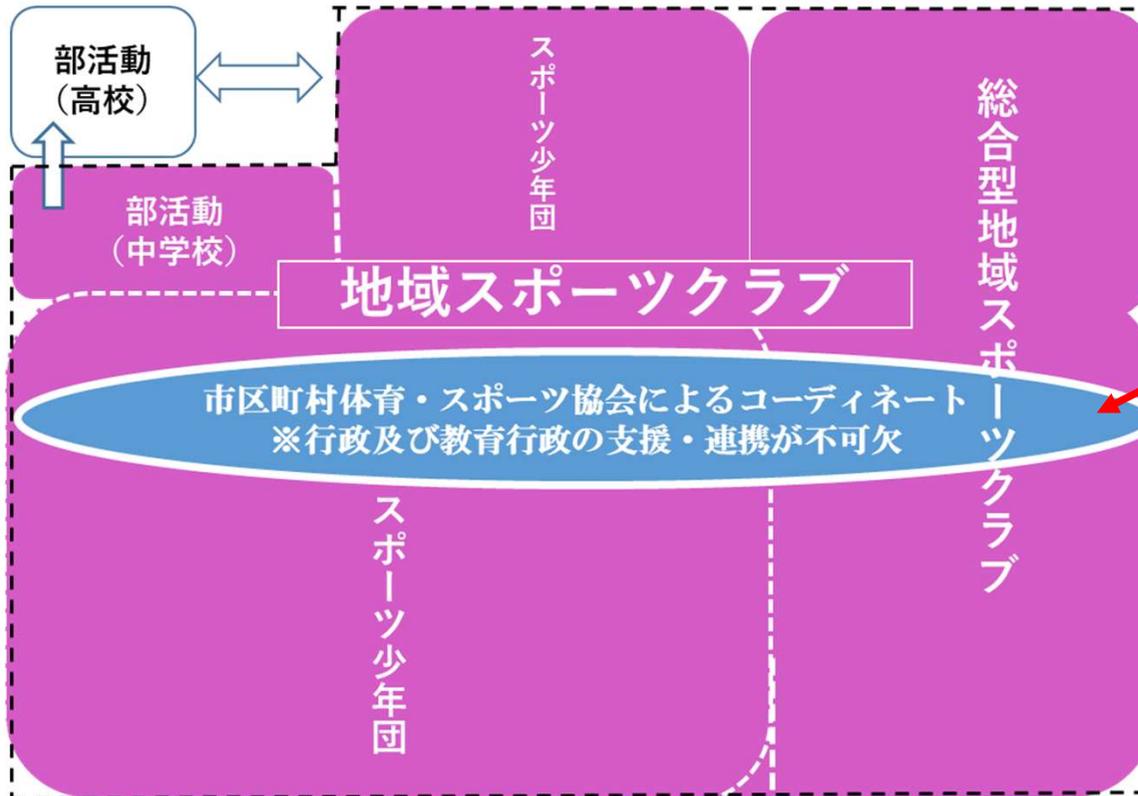


本会が目指すべき「新たな地域スポーツの体制」の在り方

中学校運動部活動等、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進め、「新たな地域スポーツ体制」を構築



総合型クラブ登録・認証制度とスポーツ少年団登録制度の統合
→「地域スポーツクラブ登録制度」(仮)

【地域スポーツの実態】

公認スポーツ指導者数 (2020年10月1日現在)	192,717名
スポーツ少年団単位団数 (2019年度登録数)	31,302団
総合型地域スポーツクラブ数	約3,500クラブ

【必要な取り組み】

- ・スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブに関わる指導者への公認スポーツ指導者資格取得の促進
- ・スポーツ少年団登録制度と総合型地域スポーツクラブの登録制度の統合
- ・市区町村体育・スポーツ協会の機能、組織力の強化
→法整備・法改正、経費の援助等、国をはじめとする行政の支援が不可欠。

「提言 今後の地域スポーツ体制の在り方について ジュニアスポーツを中心として」 日本スポーツ協会 2018年

※スポーツ庁による教員の働き方改革を踏まえた部活動改革の動き

平日：学校教員による「学校部活動」

休日：地域の指導者による「地域部活動」→当面は「地域部活動」の受け皿としてスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブが積極的に貢献。

将来的には子どものスポーツを市区町村体育・スポーツ協会がコーディネートして地域スポーツクラブが対応。